

# 雑草防止・土系舗装工(歩行者・自転車用) 施工手順

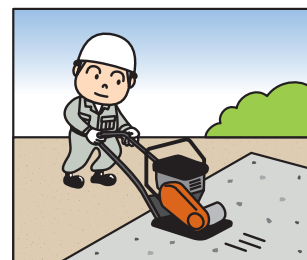
【施工方法】 材料敷き均し・不陸調整・散水・ハンドローラ転圧方式

◎使用量:1㎡当り2.5袋(50.0kg/㎡) ◎まき出し厚さ:33mm ◎仕上り厚さ:30mm

## ① 路盤工(整正・転圧)

施工場所の雑草を根茎から完全に除去し、振動コンパクタ等で平らに転圧します。基面に碎石を路盤材として敷き均し、振動コンパクタ等で転圧を行います。

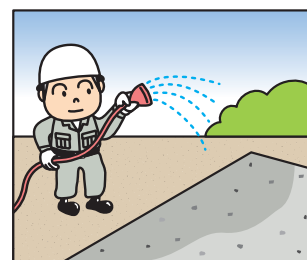
(路盤厚:100mm)



## ② 路盤散水

路盤に水溜りができない程度に散水します。一度に広範囲に散水せず、材料敷き均し箇所に対して散水を行ってください。

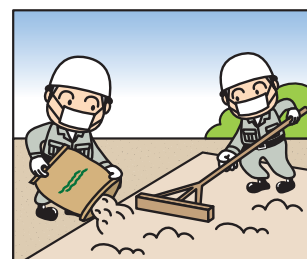
(散水量目安:1㎡当り4~5ℓ程度)



## ③ 雑草アタックNEOの敷き均し

本製品(20kg紙袋)を1㎡当り2.5袋(50.0kg/㎡)の割合になるように均等に敷き均します。まき出し厚さ $t=33\text{mm}$ になるように、トンボやレーキを使って敷き均します。

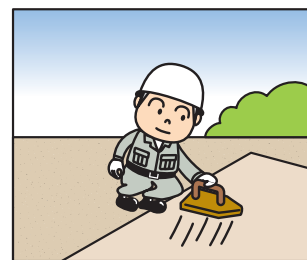
(使用量:1㎡当り50.0kg)(まき出し厚さ:33mm)



## ④ 不陸調整(コテ仕上げ)

表面に凹凸が無いようにコテで押さえながら排水勾配を考慮して全体を仕上げます。

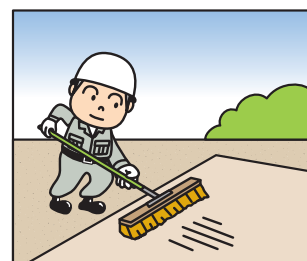
(注)散水後の手直しができないため、コテ仕上げによる不陸調整をしっかりと行ってください。



## ⑤ 表面仕上げ(刷毛引き)

水が浸透しやすくするために、施工表面を刷毛で軽く撫でるようにして仕上げを行います。

(注)強く撫でると施工表面に凹凸ができる恐れがあるので、ご注意ください。

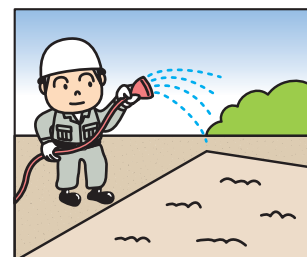


## ⑥ 基本散水

シャワー状のノズルで表面に水が溜まらないように3~4回に分けてまんべんなく散水します。

(散水量目安:1㎡当り7~8ℓ程度)

(注)表面に水が溜まったら散水を中止し、水が引いたことを確認してから続きを行ってください。



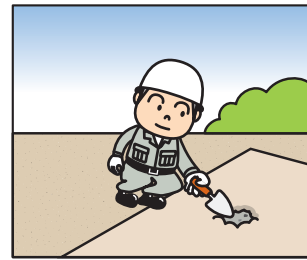
# 雑草防止・土系舗装工(歩行者・自転車用) 施工手順

## ⑦ 浸透確認

基本散水後、5分間程度待ち、施工箇所一部を掘り下げて、路盤まで水が浸透しているか確認します。

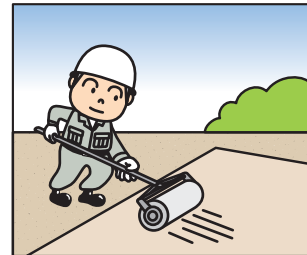
(浸透確認目安:20㎡毎に1箇所)

(注)路盤まで水が浸透していない場合は、本製品に浸透するまで基本散水を行ってください。



## ⑧ 転圧(ハンドローラ使用)

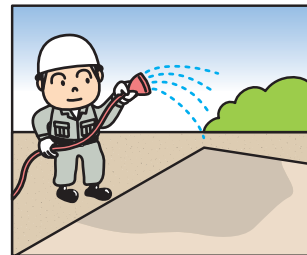
浸透確認後、5分間程度待ち、表面の水が完全に引いたことを確認してからハンドローラ(重量25~40kg)やコテ(ハンドローラが乗らない箇所)で転圧します。ハンドローラは5往復以上、コテは上からたたくようにして仕上げてください。



## ⑨ 養生散水

転圧完了後、すぐに養生散水を行ってください。必ず表面に水が浮いてくるまでしっかり散水してください。

(散水量目安:1㎡当り6~7ℓ程度)



## 施工上の注意事項

- 雨天時の施工は、表面強度を低下させ、剥離やクラックの原因となりますので、避けてください。
- 猛暑時(外気温30℃以上)や強風時の施工は、急激な乾燥によりドライアウトや乾燥収縮によるクラックが発生する恐れがありますので避けてください。やむをえず施工される場合はこまめな養生散水やシートなどで急激な乾燥を避けてください。
- 厳冬期(外気温5℃以下)の場合は施工を避けてください。
- 施工後急激な温度低下(外気温5℃以下)が予想される場合は、保湿マットなどで養生して凍害を避けてください。
- コテ仕上げは、木コテ又はプラスチックコテを使用して上から押さえながら仕上げてください。また、金コテは使用しないでください。金コテで擦って仕上げますと表面の強度が低下して、施工後に表面剥離が生じることがあります。
- 施工翌日に降雨が予想される場合は、表面保護のため、シート養生を行ってください。
- 施工後しばらくは、表面に砂が浮き出しますが、機能などの問題はありません。
- 施工端部の割れ防止として、見切り板やレンガなどでの保護をお勧めします。
- 表面が摩耗しますので駐車場への使用は避けてください。
- 雨垂れ、水滴などが当たる部分は、表面に穴が開くなどの侵食が生じます。雨樋の設置や捨石などの対策を施してください。

## 安全上の注意事項

- 施工時は材料が直接肌に触れないように、保護メガネ、保護手袋、保護マスクを使用してください。
- 万一目に入った際は、目を擦らないできれいな水で十分洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はきれいな水でよく口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けてください。

## その他の注意事項

- 固化材にセメント類を使わずに、自然土の風合いをそのまま残しておりますので強く擦ると表面の砂が取れます。
- 固化材の海水ミネラルの影響で経時で白華することがありますが、機能などの問題はありません。
- 日陰など湿潤な場所はコケなどが発生することがあります。
- 自然土を使用していますので、ロットにより多少色の違いがあります。
- 本製品は湿気のない場所で保管し、開封後はお早めにご使用ください。
- 本製品は真砂(加工砂)を主成分とし、セメントを一切使用しておりません。天然のがり成分(酸化マグネシウム)で自然土を固めております。そのため、自然現象(凍上・凍結融解作用・豪雨など)により、施工表面に竹繊維の剥離、浮砂、風化、侵食、クラック、剥離などが生じることがあります。自然な土の風合いとしてご理解ください。